

寄稿

「百歳で亡くなった、堀文子を偲んで」（敬称略）

「語り部の会・あこ」代表 武井久江

1967年に大磯に転居・アトリエを構えた日本画壇を代表する女流画家・堀文子の人生を語ります。

文子が生まれたのは、大正7年（1918）7月2日、現在の東京都千代田区平河町に生まれました。父・竹雄は中央大学に勤務する歴史学者で、母・きよは信州松代藩の土族の末裔です。きょうだいはい、6人で女の子が2人続いた後に兄が生まれ、その下の三女として生まれたのが文子でした。5歳の時に関東大震災、昭和11年2・26事件を経て日本は戦争へと大きく舵を切っていました。そんな時代に、絵を描いていきたいと、両親の反対を押し切って女子美術学校に入学します。本当は、「自然の不思議を解明する科学者」になりたかった。この時代、女性は大学に進学できない時代でしたので、諦めて女子美に進んだのは女としてハンディがなく、自立して生きていくことのできる道と分析したと、後に語っています。女子美卒業後、東京帝国大学農学部作物学教室で、農作物の記録画を描く仕事に就き、平成13年（2001）に解離性動脈瘤で倒れ足腰が弱くなり、取材旅行に出かけられなくなり、車椅子になってから描いたのが微生物や、海中に生きる生き物で、この時の経験がいきました。女子美在学中から新美術人協会展入選など、頭角を現していきます。29歳の時、外交官・箕輪三郎と結婚、だが彼は体が弱く結核を患っており、約14年間の生活は看護婦のような生活でしたが、夫から多くの事を学び精神的には充実した結婚生活だったと振り返ります。しかし夫が亡くなったとたん張り詰めていた緊張の糸が切れ、虚無的な感じに陥ってしまいました。ここから、世界放浪の旅に出ます。もちろん夫を亡くした悲しみを乗り越えると共に、海外で美術館を訪れたり絵を学びますが、西洋と日本の違いを見極めたいと思いました。帰国後精力的に活動し、自宅を東京から大磯に移し、軽井沢やイタリアにもアトリエを構え、大いなる好奇心・感動・不安な気分なくして絵画は上手くなれないという思いから、束縛されず自由でありたいと描き続けました。「群れない」「馴れない」「頼らない」を通し、百

歳の人生を凜として生き抜き、2019年2月5日安らかに眠りにつきました。

文子のアトリエのある庭（旧紀州徳川家別荘地の一部）には、現在大磯町史跡名勝天然記念物で樹齢約400年の「ホルトの木」が生き続けています。

また、テレビ朝日の人気番組「徹子の部屋」の奥の壁に飾ってある、ブルーの着衣を纏っている「アフガンの王女」は堀文子の作品です。

一寄稿者プロフィール

大磯町観光協会FBで「大磯今昔のあこ」として約4年語ってきました。今年古希を迎えるにあたりタウンニュースの連載（大磯明治150年語り）をきっかけにライフワークとして語り部の会を立ち上げました。大磯町観光協会副会長として大磯町を盛り上げる活動もしています。

職員紹介

介護 東 孝司

幸寿苑に入職して四年目となりました、二階で副主任をさせて頂いている東 孝司です。

① 仕事の魅力・やりがい

仕事を通して色々な人と接し、学ぶ事のできる仕事だと思っています。一つ一つの出来事から楽しい思い出として残ったり、失敗した事を反省し、次に活かせる様に努力する等、自分自身にも様々な影響があり、心がけ次第で他者に与える影響も大きいと感じます。介護職を十年以上行なっていますが、至らない点も多く、今後も苦手を減らせるように頑張りたいと思います。又、一人では出来ない仕事なので、小さな課題でも一つずつ皆と取り組んで行きたいですね。

② 趣味・好きな食べ物

趣味はお酒で好きな食べ物は刺身です。

② 職場の雰囲気

様々な年代の方々がおり、色々な経験をつんだ職員がおり勉強となります。苑の雰囲気は明るく活気があると思います。今後も皆様と一緒に楽しみたいです。

介護 八幡千名美

この大磯幸寿苑に入職して、3ヶ月程たちました。多くのご利用者様に、顔と名前を覚えて頂き、「い

つもありがとうね」「おはよう
 今日もよろしくね」と話しかけ
 て頂き嬉しさと楽しみが増えて
 いく日々を実感しております。
 たくさんの人との出会いを大切
 にし、私自身も楽しみながら、ご利用者様との生活
 を明るく元気で過ごして頂けるように努力し色々な
 事を学んでいきたいと思っております。これからも
 よろしく願います。



ボランティアフォトレポート

6月15日 ピアノコンサート



18日 華道

19日 コーヒー喫茶

20日 ハワイアン・フラダンス



24日 骨太体操、書道

26日 コーヒー喫茶

7月 3日 コーヒー喫茶

4日 華道

7日 カラオケ



9日 フラワーアレンジメント

10日 ハーモニカ

16日 華道

17日 コーヒー喫茶

22日 骨太体操、書道

24日 コーヒー喫茶

8月 1日 華道

6日 フラワーアレンジメント

7日 コーヒー喫茶

11日 カラオケ

12日 フロアコンサート



14日 ハーモニカ

20日 華道

21日 コーヒー喫茶

24日 ピアノコンサート・フラダンス



26日 骨太体操、書道

28日 コーヒー喫茶

外出レクリエーション 7月24日 大磯海水浴場海の家



通所リハビリミニ納涼祭 8月19日～23日



納涼祭 令和元年8月3日

恒例の「納涼祭」を開催いたしました。ご利用者、ご家族、ボランティア、スタッフを含め300名余の方が集まる、苑最大のイベントです。今年は館内1階2階フロアごとにプログラ進行し、大磯レクリエーション協会の盆踊りにはご利用者、ご家族が加わって踊り、職員のソーラン節には盛大な拍手を頂きました。フィナーレは屋外に出て職員による打ち上げ花火を見て真夏のひと時を家族と共に過ごしていただきました。

